

や ま だ ん の  
山 田 野

36

独立行政法人  
国立病院機構 北陸病院  
〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととところよりお慶び申し上げます。

ここ城端では豪雪もなく穏やかな正月となり、安寧な1年を望めるように感じられますが、昨年は4月に熊本地震があり、8・9月には相次ぐ台風の上陸、10月には鳥取中部地震、更に12月には糸魚川で大火災もありました。被災された方々にはところよりお見舞い申し上げます。熊本地震では、当院からは初めて災害派遣精神医療チームDPATが富山県内で2番目に派遣されました。このDPATは、自然災害や列車事故など大規模な災害時に被災地域に入り、精神医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチーム活動です。この地震では当院と同じく精神科と重心医療などを担う国立病院機構の菊池病院が被災し、木村院長の話では4/14、21時半頃の前震で重心病棟の支柱に亀裂が生じた後、4/16午前1時半ころの本震で一部崩落したとのことで、4/15その間のただ一日の日中に患者さんの移動を行っていたことで一人の被害者もださずに事なきを得たとのことでした。時を過さない適切な判断は見習いたいものです。また昨年からは砺波地域災害医療連携会議からも災害時の精神科医療対応について要請されています。当院が県や地域から必要とされ頼りにされているものであり、期待に応えるべく日頃からの心づもりが大切であろうと思っています。

さて、国全体としては、低成長と人口減少の

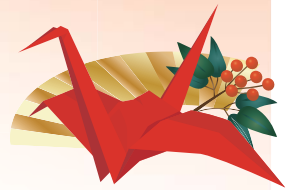
超高齢社会が加速度的に進んでおり、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向

かっての対策として地域医療構想と地域包括ケアシステムを車の両輪とされ、医療や介護、福祉のみならず社会全体の大きな転換期にあると言えるでしょう。こうした中で、国立病院機構としては、国民全体の健康を支えるという負託に応えるために、経営改善を中心に機構および病院の強靱化を図ろうとしています。当院としても、超高齢化の砺波地域における安心と健康長寿の一助となることを責務と考えています。身体・知的・精神の障がい者医療を主とする政策医療を担うために経営基盤が弱い当院においては、すべての職場での業務改善を含め職員皆で対応を図っていくつもりです。

そして、北陸病院医療の本質である、基本理念の「生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意を持って実践する」という病院を目指すことには変わりありません。職員一人一人が相手の身になる『恕』という言葉を胸に、目の前の一つ一つを大切にすることで地域のだれからも大切にされる病院となることを願っております。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言をところよりお願い申し上げます。

(院長 坂本 宏)



# CVPPP(包括的暴力防止プログラム)勉強会の紹介

医療安全管理室 堂前 比二美

CVPPP (Comprehensive Violence Prevention and Protection Programme) とは、精神科医療領域で病状により不穏・興奮状態にある患者さんに対し、尊厳を守り安全を確保しながら、必要な治療や看護を提供することを旨としたプログラムのことです。このプログラムはリスクアセスメント、対話による興奮状態への介入方法、身体的介入方法、心理的サポートから成り立っています。



当院では、医療観察法病棟開棟（東病棟）に伴い、CVPPP研修を取り入れています。東病棟看護師6名はCVPPPインストラクター養成研修を受け、当院の研修会の講師をしています。平成28年で看護師47名が受講を終了し、自施設内指導者（トレーナー）の資格を取得しました。これは看護職員の約43%に当たります。

そこで東病棟と医療安全管理室が協力し、トレーナー達が研修で身に付けた技術を活かすための環境を調整し、さらに病院全部署に普及させ、医療の質の向上を図る目的で、院内CVPPP勉強会を企画・運営する事にしました。

CVPPP勉強会の写真を紹介します。

毎月1回、30分間、体育館で実施しています。写真は、「拒否的な患者を安全に移送する方法」を実践しているところです。3人1組で中央が患者役、両側に医療者役がいます。普段何気なく患者さんの手を持ち、誘導していますが、突発的な事故を防ぐためにはどのように誘導したら良いのでしょうか。医療者も患者も双方が安全で、安心できる対応方法を身に付けるためには、何故このように手を持つのか、どの位置に立てば良いのか等、根拠をしっかりと押さえた方法を繰り返し学ぶことが効果的です。



# 認知症治療病棟(南1階病棟)における 園芸活動について



作業療法士 田本 満

認知症治療病棟では、生活機能回復訓練・作業療法の一環として、患者様にとってなじみのある園芸活動を行っています。そこでは、季節の野菜やハーブなどを栽培しています。特に今年は、大玉トマト作りにもチャレンジしました。土を耕し畝を作るところから始まり、苗の植え付け、茎の誘因、わき芽取り、肥料やり、草取り等を行い、沢山収穫できました。

これらの活動を通して、四季の変化を感じ、野菜の成長に心躍らせながら楽しく日々過ごしていきたいと考えています。また、何より大切にしているのは役割を担うことにより得られる満足感・達成感・充実感です。それらが得られるよう、これからも関わっていききたいと思います。

今回、栄養管理室と連携し、収穫した野菜を全ての患者様が食べられるよう味を調べ、食べやすく加工し、夏には「トマトゼリー」①、秋には「南瓜とサツマイモをコラボしたゼリー」②を提供しました。患者様からは、「美味しかった」等、大勢の方に喜んでいただきました。



①

・トマトゼリーの上には、プランターで栽培したハーブの葉を乗せ、本物のプチトマトの様に演出しています。



②

## 外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	市川・坂本	石橋・市川	白石・石橋	池田・細川	細川・白石
精神科（再診）	石崎・石橋	白石・池田	松下・石橋	市川・石崎(吉田翠)	池田・吉田翠
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹
内科	(渡辺)	渡辺	渡辺	(渡辺)	(渡辺)
睡眠外来（初診）				細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） 統合失調症セカンドオピニオン外来（白石） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 睡眠外来：睡眠障害（細川） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）		重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）		

●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。  
●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00  
【地域医療連携室 直通電話】 **0763-62-1950**

### 看護師・療養介助員・看護助手募集中!

看護師の資格をお持ちの方を随時募集しています。子育てが一段落したからまた働いてみたい方、ゆっくり患者さまと関わる看護をしたい方、大歓迎です。私たちと一緒に働きませんか。話好き・世話好きな方、看護助手として病院で働いてみませんか。仕事は看護業務の補助や患者さまの介護、病棟内の清掃などで、経験や資格は不要です。勤務時間についてはご相談ください。

お気軽に  
看護部長室まで  
ご連絡ください。



### 【交通アクセス】

#### ◆交通機関

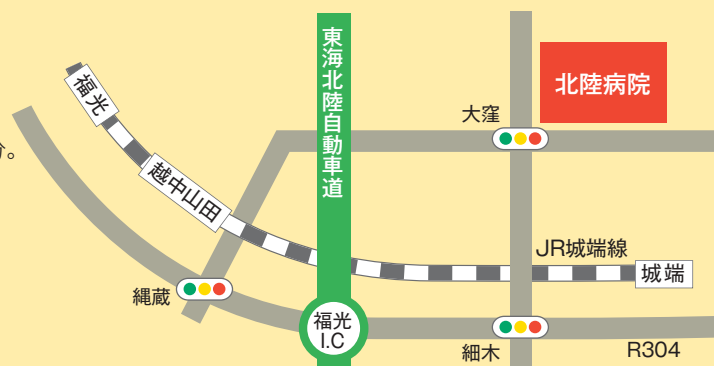
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

#### ◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

#### ◆南砺市コミュニティーバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



## 独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】白石・高木・今泉・坂本